

平成27年12月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(12月7日、8日 2日間)

○12月7日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁	
無所属 山名 文世	2 建設行政について	(2) 西白山台小学校について			
		イ 景観配慮について	教育総務課	1	
	3 教育行政について	(1) 学校図書館について		教育指導課	2
		(2) 児童生徒の問題行動について		教育指導課	3
		(3) 教員の不祥事について			
		ア 児童生徒への対応について		学校教育課	4
		イ 地域住民等の信頼回復について		学校教育課	5
ウ 具体的な再発防止策について		学校教育課	6		
	(4) 教員の過労防止について		学校教育課	7	
日本共産党議員団 田端 文明	1 八戸市民大学講座について	第13講義「我国の防衛政策と課題」について	社会教育課	8	
日本共産党議員団 苦米地 あつ子	1 保育行政について	(3) 本のまち八戸事業の幼児への拡充について	教育指導課	9	
	2 就学援助について	(1) 認定基準の見直しについて	学校教育課	10	
		(2) 新入学児童生徒学用品費等の支給について	学校教育課	11	

○12月8日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
自由民主・市民クラブ 高橋 一馬	2 教育行政について	部活動、指導者引率について	学校教育課	12
自由民主・市民クラブ 工藤 悠平	1 八戸三社大祭について	(1) ユネスコ無形文化遺産登録の経緯とスケジュールについて	社会教育課	13

( 余 白 )

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	2 建設行政について
発言の要旨	(2) 西白山台小学校について イ 景観配慮について
質問内容	工事費が高額になる平屋又は一部二階建ての構造をなぜ採用したのか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○国の「学校施設整備指針」では、学校は、地域住民にとって最も身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場としての活用を積極的に推進し、景観や町並みの形成に貢献することのできる施設として整備するのが重要であると示されている。</p> <p>○西白山台小学校においても、地域密着型教育や施設開放など、地域交流の場として活用できるよう、児童・保護者をはじめ、高齢者や障がいのある方など、誰もが利用し易い平屋又は一部二階建てとしたものである。</p> <p>○建設地の周辺は住宅街となっていることから、その景観に溶け込むよう、低層の施設としており、配置においても、二階建て部分は敷地中央とするなど、周辺住宅に圧迫感を与えないように配慮している。</p> <p>○西白山台小学校は、周辺環境に配慮した学校施設として、また、学校・家庭・地域との連携をさらに深め、多様な活用を可能とする施設として、今後の学校施設整備のモデルとなるものと考えている。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 学校図書館について
質問内容	青森県は、学校図書館用図書購入に充てる予算が全国的に見て低く、蔵書数も少ないと聞いている。本市の学校図書館の現状と今後について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○平成 26 年度実施の「学校図書館の現状に関する調査」によると、学校図書館に備えるべき冊数を定めた図書標準に対して、本市の小学校は平均 92.1%、中学校は平均 84.0%の蔵書を整備している。図書標準に達していない理由の一つとして、内容が古い本や修繕を繰り返しても傷みが激しい本は廃棄するなど、蔵書の更新が計画的に行われていることが挙げられる。</p> <p>○この充足率を、青森・弘前市と比較すると、中学校はやや低いが、小学校は他都市より高い状況にある。</p> <p>○市教育委員会では、各学校の学校図書館用図書購入予算は、学級数や現状の充足率等を踏まえて配分している。近年児童生徒の在籍数が著しく減少してきているが、配分予算額の減額はしていない。</p> <p>○各学校では、配分された予算を計画的に執行し、蔵書のバランスや児童生徒の希望を考慮した図書購入に努めている。また、多くの学校では、学校図書館担当職員と図書ボランティアが連携して、児童生徒が本を読みたくなるように本の並べ方や掲示の仕方などに工夫を凝らすなど、学校図書館の環境整備が進んでいる。</p> <p>○市教育委員会としては、各学校に対して、引き続き、学校図書館用図書購入予算の計画的な執行と、児童生徒にとって魅力ある学校図書館づくりを進めるよう支援して参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) 児童生徒の問題行動について
質問内容	児童生徒の問題行動の現状と学校や市教育委員会の取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○児童生徒の問題行動を対象とした文部科学省による調査では、本市における暴力行為は、ここ数年減少傾向にあり、いじめ・不登校は横ばい傾向にある。</p> <p>○各学校では、問題行動の未然防止の観点から、教育活動全体を通じて「児童生徒の望ましい人間関係の構築」「公正な判断力の育成」「規範意識の高揚」等に取り組んできたところであり、学習活動や教育相談等において児童生徒一人一人の心に寄り添った指導・支援も積極的に行っている。</p> <p>○しかし、近年は保護者の価値観の多様化や教育的支援を要する児童生徒の増加など、学校環境が著しく変化し、学校現場ではその対応等に追われている。</p> <p>○市教育委員会としては、不登校については、指導主事や教育相談員による巡回指導等を行い、きめ細かに対応するとともに、今年度4月に開設した「こども支援センター」を窓口とした教育相談を充実させている。</p> <p>○また、いじめ問題、暴力行為等については、学校訪問等を通じて情報交換を行い、適切な指導体制や関係機関との連携について支援してきたところである。</p> <p>○さらには、「いじめ問題に関する対話集会」の開催や市教育委員会教育指導課内に設置している少年相談センターでの電話・来所相談など、学校や家庭を支援するための取組を進めている。</p> <p>○現在、「いじめ防止基本方針」を策定中であり、いじめの早期発見・早期対応に向けた体制づくりを進めるところである。</p> <p>○今後も、「いのちの教育」を基盤として、児童生徒の自尊感情の高揚とよりよい人間関係が構築できる学校教育の充実に一層努めていく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 教員の不祥事について ア 児童生徒への対応について
質問内容	教員の不祥事によってショックを受けている児童生徒に対して、心のケアを含めて市教委ではどのように対応しているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○児童生徒にとって、最大の教育環境は教師であり、教師は、児童生徒の手本となるべき存在であることは言うまでもない。</p> <p>○しかしながら、今年度、市内中学校教諭が県青少年健全育成条例違反により逮捕され、懲戒免職処分となる事案が発生した。</p> <p>○また、時を同じくして、当時市教育委員会に勤務していた職員が、教科書会社から検定途中の教科書の閲覧を求められ、意見を述べた報酬として金銭を受け取っていたことが発覚した。</p> <p>○これら一連の事案は、たとえ一人の教職員が起こした事案であっても、学校教育全体に及ぼす影響は計り知れず、教師を慕い、敬う子どもたちの心を裏切る行為であり、誠に残念であるとともに、憤りを覚える。</p> <p>○市教育委員会としては、このような事案が発生した場合は、最優先で取り組まなければならないのは、児童生徒の心のケアであると認識している。</p> <p>○したがって、本事案発覚後は、当該校に臨床心理士を常駐させ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、個別のカウンセリングを実施したところである。</p>
担当課	学校教育課

### ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

### ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 教員の不祥事について イ 地域住民等の信頼回復について
質問内容	教員の不祥事に対する、保護者や地域住民の信頼を回復するためにどのように取り組んでいるのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○教育公務員の綱紀粛正が求められている昨今、教員による不祥事の発生は、これまで築かれてきた保護者や地域住民との信頼関係を揺るがし、学校教育に対する不信を招くものである。</p> <p>○今回の事案の発覚後、当該校では、緊急に保護者集会及び地域学校連携協議会を開催し、校長が事案の概要を報告するとともに、監督すべき職員の不祥事についてお詫び申し上げたところである。</p> <p>○その中で、学校と家庭、地域が連携して子どもたちの動揺を抑え、一日も早く通常の学校生活に戻していくことを確認し合い、現在も取組を進めているところである。</p> <p>○今後も、地域密着型教育の趣旨を生かし、学校の運営に関して、保護者及び地域住民の参画を推進し、地域に根ざした学校づくりをより強固なものとしていくことで、保護者、地域住民からの信頼回復を図っていく</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 教員の不祥事について ウ 具体的な再発防止策について
質問内容	教員の不祥事の再発防止のための具体的な取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○本件のような不祥事は、本来あってはならないことであり、現在、再発防止に向けて全力で取り組んでいる。 ○市教育委員会としては、本事案発生を重く受け止め、即日、市内小・中学校臨時校長会を開催し、服務規律確保に向けた各校の取組を一層強化するよう要請した。 ○今後は、学校訪問等を通じて、一人ひとりの倫理観を高める職場づくりを推進するとともに、教育公務員としての使命感や責任感について強い自覚を促す指導の徹底を図っていく。
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	



質問者(議員名)	山名 文世
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(4) 教員の過労防止について
質問内容	八戸市における教員の過労防止に対する取組を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○全国的に教職員の多忙化が進み、勤務時間以外に職務に関連する作業に従事する時間が増え、健康障害を引き起こす教職員が増加する傾向にあり、当市も例外ではない。</p> <p>○市教委では平成 21 年に「八戸市立学校職員健康障害防止対策実施要綱」を策定しており、各学校では職員の時間外及び休日労働の時間を把握するとともに職員の健康管理に努めてきたところである。</p> <p>○さらに実効性のある取組として、平成 28 年度から「校務支援システム」を市内小・中学校に一斉に導入し、事務の負担軽減・効率化を図る。</p> <p>○併せて市教委独自に、「教職員の長時間労働の縮減に関する指針」を策定し、勤務終了時刻に全員が速やかに帰宅できるよう努める等、職場環境の改善に取り組むこととしている。</p> <p>○現在は試行期間として取り組んでいるが、各学校からは「教員一人一人が勤務時間を意識し、帰宅時間が早くなった」という声が聞かれている。</p> <p>○一方では、「学校行事等でどうしても時間外労働を縮減できない時期がある」という声もあり、今後の課題であると認識している。</p> <p>○市教育委員会としては、今後も児童・生徒としっかりと向き合い、寄り添う時間を確保し、教職員全員が明るく元気で、意欲を持って教育活動に専念できる環境づくりに向けて取り組んでいく所存である。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	田端 文明
発言事項	1 市民大学講座について
発言の要旨	第13講義「我国の防衛政策と課題」について
質問内容	今回の講演を開催するに至った経緯と、このような内容の講演が開催されたことについて市長の所見を伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市民大学講座は、多様な分野の第一人者から直接講義を受けることができるという特色があり、このことが生涯学習の場として学習の選択肢を広げ、市民が自ら学び考えることにつながると考えている。</p> <p>○講師選定に当たっては、受講生のアンケートや社会情勢に鑑み、幅広いジャンルから各分野で活躍されている方々を講師として迎えており、今般の防衛政策についても、市民の大きな関心事の一つと捉え講演を依頼した。</p> <p>○今後とも、講師選定に当たっては、市民の要望や意見を反映させながら、学習意欲に応え得る講座を実施していく。</p>
担当課	社会教育課



◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○安保法制が国民大多数の反対世論を押し切り強行採決されたこの時期に、市民大学講座で実施する講演としては不適切と言わざるを得ない。強く抗議する。

質問者(議員名)	苫米地 あつ子
発言事項	1 保育行政について
発言の要旨	(3) 本のまち八戸事業の幼児への拡充について
質問内容	幼児期の読書活動などにつなげるためにマイブック推進事業の拡充はできないか。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○小学生を対象とした「マイブック推進事業」は、「ブックスタート事業」「ブックセンター事業」と並ぶ「本のまち八戸」構想の三本の柱の一つとして昨年度から実施された。</p> <p>○アンケート調査によると、児童・保護者・各学校・参加書店等に好評で、事業の継続を望む声が多く寄せられている。</p> <p>○ブッククーポンの配付対象を小学生としている理由は、保護者とともに書店に出かけ、自ら本を選び購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくり、自分一人で本を読む楽しさや難しさを実感してほしいためである。</p> <p>○配付対象を拡充することについては、当事業の取組が円滑に推進された後の課題と受け止めており、今後、関係各課の連携を図りながら検討して参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	乳児期から学童期まで切れ目のない読書活動を支援するためにも、ブックスタート事業とマイブック推進事業をつなぐ取組をお願いしたい。

質問者(議員名)	苫米地 あつ子
発言事項	2 就学援助について
発言の要旨	(1) 認定基準の見直しについて
質問内容	生活扶助基準の見直しに伴う、就学援助制度における認定基準の見直しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○八戸市の就学援助制度については、学校教育法 19 条に基づき、就学に必要な学用品費等の一部や学校給食費を援助している。</p> <p>○また、「八戸市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱」に基づき実施しており、就学援助の認定における収入の基準額は、生活保護法による保護の基準額を算定の基礎としている。</p> <p>○生活扶助基準の一部改正（平成 25 年 8 月 1 日施行）に伴い生活保護法による生活保護の基準額が引下げられたが、就学援助制度における認定基準に影響が生じないよう、要綱を改正し、引き続き就学援助の対象となるように対応している。</p> <p>○市教育委員会としては、今後も引き続き現状の制度を継続し、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し就学に必要な援助費を支給し、義務教育の円滑な実施が図られるように努めていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	苫米地 あつ子
発言事項	2 就学援助について
発言の要旨	(2) 新入学児童生徒学用品費等の支給について
質問内容	新入学児童生徒学用品費等の早期支給について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○新入学児童生徒の就学援助の手続きは、2月頃に各学校で行われる入学説明会で保護者へ周知を図り、援助を必要とする保護者は、新年度に児童生徒が入学した後、学校長を通じて市教委へ書類を提出し申請する。</p> <p>○市教委では、4月末までに世帯の経済状況等の審査を行い、6月下旬に学用品費等を支給している。</p> <p>○議員から御提案のあった早期支給は、現状の申請時期、認定に要する期間では、支給時期を大幅に前倒しすることは難しい状況である。</p> <p>○しかし、新入学児童生徒学用品費は、経済的理由により就学困難な児童生徒にとって、必要性の高いものであることから、他都市の事例等を参考にしながら、支給方法等について研究して参りたい。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	継続して就学援助を受けたい方についての、認定手順について伺いたい。支給時期を3月中もしくは、4月初旬に支給できないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○継続して就学援助を受けたい方の認定についても、毎年新入学生と同じように審査している。</p> <p>○認定や支給時期等も含め他都市の事例を参考にし、研究して参りたい。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 一馬
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	部活動、指導者引率について
質問内容	部活動の大会出場における引率要件の緩和に向けた取組状況及び進捗状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○中体連主催の大会に出場する場合、当該校の教員が引率することになっており、学級数の減少、教員数の減により、各学校では生徒一人一人のニーズに応える部活動運営が困難になっている。</p> <p>○平成27年2月に、市中学校長会長と市中学校体育連盟会長の連名で、全国中学校スケート大会スピード競技における引率要件の緩和について要望書を提出した。</p> <p>○先般、回答があり、今年度から3年間の試行期間を経て、正式決定することであった。</p> <p>○市教育委員会としては、今シーズンの対応状況を見守るとともに、他の競技の要件緩和に向けて、引き続き連携して努力していきたい。</p>
担当課	学校教育課

### ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	試行期間における留意事項の内容、引率要件の緩和によって期待される効果について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○新たに、①学校事情によっては、対象生徒との保護者が代理引率できること。 ②他校の教員に代理監督を依頼することも認め、引率要件に盛り込んだ。</p> <p>○これまで、学校事情等で全国大会に出場できなかった生徒が出場可能となり、将来の夢につながると、期待している。</p> <p>○一方、保護者等への負担が増えるなどの課題が考えられる。</p> <p>○引率要件の緩和が暫定的に認められたことは、氷都八戸の復活、スピードスケートの競技人口の拡大にもつながるものとする。</p> <p>○市教育委員会としては、生徒一人一人のニーズに合わせた部活動運営が、一歩前進するものと期待している。</p>

### ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	工藤 悠平
発言事項	1 八戸三社大祭について
発言の要旨	(1) ユネスコ無形文化遺産登録の経緯とスケジュールについて
質問内容	八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録について、これまでの経緯と今後のスケジュールについて伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○八戸三社大祭の山車行事は、芸能や慣習など無形のことを保護対象とするユネスコ無形文化遺産のうち、祭礼行事という分野に該当する。</p> <p>○山車行事では、平成 21 年に京都祇園祭<small>まつり</small>と日立風流物<small>ひたちふりゅうもの</small>が登録されているが、平成 23 年に 2 件を新たに提案したところ、前者との類似性が指摘され登録が見送られている。このため、文化庁ではユネスコの議論を踏まえ、京都と日立の山車行事を拡張し、国指定重要無形民俗文化財の「山・鉦・屋台行事」32 件をグループ化して提案することになったものである。</p> <p>○ここに八戸三社大祭の山車行事も含まれ、「山・鉦・屋台行事」は、コミュニティが参画した持続可能な保護・継承の事例として、国際社会における無形文化遺産の保護の取組に大きく貢献するものと国から評価され、平成 26 年 3 月にユネスコに提案されている。</p> <p>○しかし同年 6 月、ユネスコの審査件数を上回る提案があったため審査が 1 年先送りとなり、平成 27 年 3 月には、新指定の「大垣祭<small>おおがきまつり</small>の軸行事<small>やま</small>」を加えた 33 件からなる「山・鉦・屋台行事」が、ユネスコに再提案された。</p> <p>○今後、平成 28 年 10 月頃にユネスコの評価機関による事前審査の勧告があり、11 月頃にはユネスコ政府間委員会において審議される予定である。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○三社大祭が抱える様々な課題に対し、市は積極的に向き合ってもらいたい。</p> <p>○これまで銘々対応してきたが、横断的組織で、関係者が一堂に会し課題解決に向けて取り組んでもらいたい。</p> <p>○学校にも働きかけるなど、お祭りに対する市民の愛着心醸成を図るべき。</p>